

地域の子どもと関わるには？

地域の大人が、進んであいさつをしましょう

あいさつの一言で、心が通い、相手との距離が縮まります。「おはようございます」「こんにちは」「ただいま」など、子どもたちが進んで気持ちよくあいさつできるように、地域の大人が手本を示しましょう。

あいさつをするとこんなよいことがあります！

- ・気分がよくなったりうれしくなったりする
- ・話しやすくなり、親しくなるきっかけになる
- ・体の調子や機嫌が分かる
- ・地域の犯罪の未然防止にもつながる



あいさつに添える「あったか言葉」

あいさつをする大人が地域が増えると、子どもは大人から見守られ、大切にされているという安心感をもちます。あいさつに添えられる「あったか言葉」は、子どもたちの心を開き、関係性を向上させます。子どもたちに「あったか言葉」をかけてみませんか。

「あったか言葉」の具体例

- 登下校している子どもたちに会ったとき
 - ・「おはようございます」＋「今日も寒いね（暑いね）。がんばってね。」
 - ・「おはようございます」＋「行ってらっしゃい。車に気をつけてね。」
 - ・「こんにちは」＋「気をつけて帰ってね。」
 - ・「こんにちは」＋「おかえりなさい。今日もがんばったね。」
- 地域行事で子どもたちに会ったとき
 - ・「こんにちは」＋「みんな元気だね。今日のイベントは楽しかった？」
 - ・「こんにちは」＋「今日は来てくれてありがとう。助かるよ。」
 - ・「こんにちは」＋「みんな仲がいいね。また来てね。」

